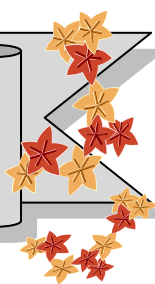


平戸



令和2年10月30日
横浜市立平戸小学校
〒244-0803
横浜市戸塚区平戸町 542 番地
Tel.045-821-2329

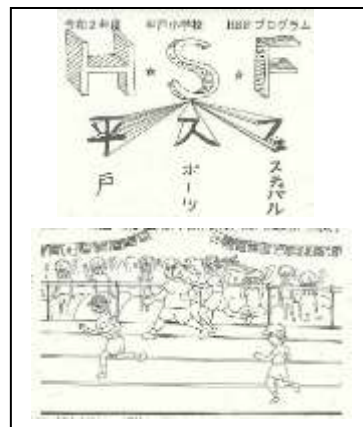
20年前と変わらぬ思いを受け継いで

副校長 諏訪部 民子

爽やかな風に秋の訪れを感じます。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動へのご支援、ご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

明日（10月31日）は、HSF(平戸スポーツフェスティバル)です。今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、例年の運動会を縮小し、HSFとして実施します。例年、温かい応援をいただいている地域の皆様へのご案内を自粛し、子どもたちと保護者、教職員のみでの実施となります。

今年度は、会場のレイアウトや競技内容についても感染予防の観点から検討を重ねてきました。子どもたちの応援席の配置や演技中の動線等、距離をとるように配慮しました。また、各色の応援団が中心となり、応援グッズを工夫して、声を出さなくても応援できるように考えました。保護者の皆様には、応援グッズのための材料集めにご協力いただき、ありがとうございました。明日は保護者の皆様にも、密を避けながら観覧していただき、大きな拍手での応援にご協力いただければ幸いです。



HSF プログラムの表紙は、6年生の有志が作成しました。

このような状況だからこそ、自分たちの力で少しでも盛り上げていきたいと考え、文字の形やイラストの構成を工夫したようです。「もともと絵を描くことが好きなんです。自分の好きなことで、学校みんなの役に立つことができたらいいと思います。」「みんなが喜んでくれることが嬉しいです。」と、にこやかに語る姿に感心するとともに、頼もしく感じました。さらに、「今年の『新しい運動会』を楽しみたい。」と前向きな気持ちを語っていました。今年度は、ペア交流ができないことを寂しいと感じていたようでしたが、1年生の応援グッズづくりを手伝ったことで、改めて1年生との交流の大切さを感じることもできたようです。1年生を思いやりながら優しく声をかけ、手伝う6年生と、お兄さんお姉さんを頼りにする1年生。そんな子どもたちの笑顔は、周りのみんなを温かい気持ちにしてくれます。

今からおよそ20年前、創立30周年の際の6年生が、当時の記念誌「こうなったらいいな。創立50周年の平戸小学校」のページに思いを残しています。その中の一つに、「みんなが仲良く笑顔あふれる平戸小学校」とありました。当時の6年生の思いは、平戸小学校に脈々と受け継がれ、今もなお、同じ思いの6年生が下級生をリードしています。

どのような状況でも、前向きに、粘り強く取り組むことができる平戸小学校の子どもたちの力を信じて、これからも充実した教育活動となるよう努めてまいります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

